

質疑応答	
質問1 (乙川)	【質問】 ごみステーションで、地域外の人が車をごみステーションに横づけしてごみを排出されてしまう。どうすればよいか。
	【回答】 半田市では、注意喚起の貼紙を設置することや、排出されたごみの中から排出者を特定できれば直接指導等させていただいている。また、見られているという抑止力を目的として、監視カメラを1か月という区切りで設置させていただいています。
質問2 (乙川)	【質問】 半田市リサイクルセンターに資源を搬入する際、ご年配の方だと重たいものを資源置き場の各コンテナ等まで搬入することが困難である。
	【回答】 基本的にはご自身で搬入されたものは、各置場までご自身で運んでいただくことをお願いしています。ただ、運ぶことが困難である場合は、台車の貸出をするほか、受入れの職員でお手伝いをさせていただきます。お困りの際はお声掛けください。
質問3 (乙川)	【質問】(質疑後の個人での話) 説明のあった市民総合賠償保険について、春のクリーン作戦でも対象となると書いてあるが、本当か。本当なら、地区への回覧文書(実施日が書いてあるもの)にこの旨を入れられないか。実際に参加している人に届けるべき情報であると思う。安心して参加できると思う。
	【回答】対象となる。来年度実施分から、文言を追加するように検討していきます。
質問4 (半田)	【質問】 市外から転入された方にもごみ出し冊子は届いているのか。
	【回答】 市民課で転入手続きをされた方に、ごみ出し冊子と発火性危険ごみ分別シールを窓口でお渡ししています。
質問5 (半田)	【質問】 ごみ出しルールが守られない状況がある中で、ごみステーションによる収集ではなく、他市で実施しているような、家の前にごみを出すような収集を実施することはしないのか。
	【回答】 半田市でも実施可能か検討しましたが、市内の一部には道が細く、収集車両が進入できない地区があり、地区ごとで収集方法を変えることは混乱を招くと判断し、採用に至りませんでした。
質問6 (半田)	【質問】 管理会社が設置した集合住宅のごみステーションのネットがかけられておらず、ごみが飛散して地域住民で掃除している。区から依頼しても動いても

質疑応答	
	られない様子のため、市からも指導してほしい。 【回答】 場所を教えていただければ市から管理会社へ指導します。
質問 7 (半田)	【質問】 ロール式のごみ袋が切り離せず、とても使いにくい。平袋に戻すことはしないのか。
	【回答】 令和 8 年度製造分から平袋に変更しており、7 月号のはんだ市報に掲載する予定です。早ければ 7 月末か 8 月頃から販売店舗の店頭に並ぶ予定ですが、サイズごとにロール式の在庫数が異なり、在庫がなくなり次第、順次、切り替わっていきます。
質問 8 (半田)	【質問】 ごみ袋の価格が上がることはあるのか。
	【回答】 ごみ袋は「ごみ処理手数料」を袋の購入という形で納めていただいているものであるため、袋の原材料費が高騰した等、製造コストを理由にごみ袋の価格が上がることはありません。しかし、ごみの収集や処理に係るコストは上がっており、そのうちの一部を手数料として負担いただく中で、どこかのタイミングで手数料を見直し、ごみ袋の価格が上がることはあります。現時点で、具体的に何年後に上がるという話が決まっているわけではありません。
質問 9 (神戸)	【質問】 板山区では空ビンの回収を袋詰めする方法からコンテナを設置して直接投入する方法に変更した。 実際に行ってみて、袋詰めする手間がなくなり効率的に行うことができている。 板山区以外の自治区でも行うことはできないか。
	【回答】 板山区では実験的に空瓶のコンテナ回収を行っていた。 試みが好評で安心したが、回収したコンテナは半田市リサイクルセンターで一時保管してから業者の方に引き渡しているため、すぐに数を増やすことは難しい。 昨今有価資源回収を辞められる方が多いのも事実なので何か対策は考えていきたい。
質問 10 (神戸)	【質問】 市内全域のゴミステーションを木枠のタイプからボックスタイプ(カラスイケイケ等)にするのはどうか。

質疑応答	
	【回答】 ゴミステーションにはボックス型にできない場所も存在する。 ゴミが散らかりやすいなど困っている場所から順に変更を行っていくことを考えている。
質問 11 (神戸)	【質問】 板山区で実施している生ごみリサイクルするための回収拠点を増やすことはごみ減量の観点からも良い考えだと思うが、市はどのように考えているか。
	【回答】 板山区公民館を回収拠点とし、生ごみを使ってメタンガス発電を行うという取り組みを昨年の10月ごろから行っている。 市内全域でできるかは検証段階であり、また生ごみ回収コンテナを置くことに抵抗がある地域もあるためすぐに増やしていく考えはない。
質問 12 (神戸)	【質問】 本来の利用者以外が使っているため、そのような人を注意するためのポスターはあるか。
	【回答】 それぞれの場所や条件によって職員が作成しているため、要望に沿ったポスターを用意することができる。
質問 13 (神戸)	【質問】 監視カメラの設置期間と不法投棄を行っている人が写っている場合はどのようにしているか。また監視カメラの設置に伴い市民の方がすることはあるか。
	【回答】 監視カメラの設置期間は1か月。 前提として監視カメラは抑止効果が目的であるため不法投棄の瞬間が写ったからといってすぐに何かを行うことは考えていない。 状況がひどい場合は警察に相談させていただく。 監視カメラ設置に伴って市民の方にさせていただくことはない。
質問 14 (神戸)	【質問】 不適切なごみの排出者へ直接指導とあるが誰が行っているのか。
	【回答】 市の職員が直接指導を行っている 市民の方が直接注意することは危険を伴うため、そのような場面を目撃した場合は半田市リサイクルセンターに電話してほしい。

質疑応答

質問 15 (亀崎)	【質問】 資料の P14 市民総合賠償保険について、過去に対象となった事例として「クリーン作戦中の飛び石事故」と記載があるが、3R アドバイザー以外の人に対象となるのか。ソフトボール協会の草刈りの際のケガが過去にもあった。 【回答】 クリーン作戦などは環境課が担当のイベントであるため、この保険の対象となる。他のイベント等については、所管する課に問い合わせをお願いしたい。
質問 16 (亀崎)	【質問】 ソフトボール協会の古い机やイスは、資源としてリサイクルセンターで引き受けてくれるのか。 【回答】 公民館などの資源類については、リサイクルセンターで受け入れられる形、机であれば金属と天板部分を分ける、イスであれば布と金属を分けることができれば受け入れられる。ソフトボール協会の資源は、スポーツ課とも調整する必要があるため、持ち込む前に事前に相談していただきたい。
質問 17 (亀崎)	【質問】 資料の P16 ごみ量の推移について、このごみ量の中に公共資源回収やごみステーションのプラ製容器包装は入っているのか。 【回答】入っていない。入っているのはごみステーションで回収している燃やせるごみや燃やせないごみなどで、プラ容器、紙容器など資源類はこの数値に入っていない。